

庄原市行政評価シート

令和4年度評価

事務事業名	比婆いざなみ街道振興協議会負担金
-------	------------------

所管	企画振興	部	いちばんづくり	課
実施期間	令和 2 年度～	令和		年度（終期設定が無い場合は終期を空白）
予算科目	会計	款	項	目
	01	02	01	02
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費
事業	0409 比婆いざなみ街道物語推進事業			
対象者	市民			対象者数など 不特定
根拠法令等	比婆いざなみ街道物語【庄原市北部資源活用計画】			
HPアドレス	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/2017/02/izanamikeikaku2902_1.pdf			
実施目的	比婆いざなみ街道沿線の様々な資源をつなぎ、地域住民や事業者間の連携を推進することにより、活用計画に掲げる地域資源の認知度向上と交流・定住の促進、地域活性化への展開を図る。			
事務事業の概要	<p>本市に住所を有する団体等が実施する、地域資源を生かした観光振興やにぎわい創出、交流・定住促進に資する事業に対し補助金を交付し、取り組みを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 予算額 900千円(年2件程度を想定) ■ 事業年度: 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年間) ■ 補助要件: 次の要件を満たす事業を対象とする。 <ul style="list-style-type: none"> ア) 事業要件: 本市に住所を有する者をもって組織する団体又は主たる事務所を置く団体等が、沿線地域の資源を生かし、観光振興やにぎわい創出、交流・定住促進を図ると共に、比婆いざなみ街道の知名度を向上させる事業 イ) 成果要件: 事業計画により目標年次における成果指標を設定 ■ 対象経費: 補助対象経費は、事業実施に必要な経費で別途指定するものを除く経費 ■ 補助率等: 補助率は対象経費の4/5以内、上限500千円 			
年度別実績概要	令和元年度			
	令和2年度	補助実績件数 1件 189,000円 (下高自治振興区「高野りんご塾」の開催 189千円)		
	令和3年度	補助実績件数 2件 828,000円 (県立広島大学「いざなみかりい」の開発 320千円／東城町商工会「牛乳酒」の開発 508千円)		

実績指標

(単位:千円)

	項目	内容	R1	R2	R3	計
	事業費 (インプット)	負担金	比婆いざなみ街道振興協議会負担金		1,500	1,500
						0
						0
計			0	1,500	1,500	3,000
財源	国県支出金					0
	地方債					0
	その他					0
	一般財源		0	1,500	1,500	3,000

	指標名称	単位	基準値	R1	R2	R3	計
実績 (アウトプット)	1 補助金交付件数	件			1	2	3
	2						0
	3						0
成果 (アウトカム)	1 イベント参加者	人			31	0	31
	2 開発商品販売数	件			0	310	310
	3						0
備考	開発商品販売数内訳(カレー110件、牛乳酒200件)						

事務事業名	比婆いざなみ街道振興協議会負担金
-------	------------------

評価項目	所管課	市民意見	評価委員会	評価平均(上段)・分布(下3段)	
(評価は、A=1,B=0,C=△1とした平均値で、A,B+,B-,Cの5段階判定)				市民意見	評価委員会
優先度	B	C	B+	△ 0.5	0.4
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。			0	3
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。			2	4
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。			2	0
認知度	B	C	B	△ 1.0	0.0
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。			0	1
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。			0	4
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。			4	1
有効性	B	C	C	△ 0.8	△ 0.3
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。			0	0
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。			1	5
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。			3	2
受益者満足度	A	-	B	-	0.1
※受益者:	市民				
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。			0	1
B	どちらともいえない。			0	6
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか)			0	0
市民(納税者)納得度	B	C	B-	△ 0.5	△ 0.1
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。			0	0
B	どちらともいえない。			2	6
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。			2	1
代替性	B	B	B	0.0	0.1
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。			1	1
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。			2	6
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。			1	0
まちづくり基本条例適合性	B	C	B	△ 0.5	0.0
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。			0	0
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。			2	7
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。			2	0

所管課評価	現行どおり
-------	-------

視点	団体や沿線地域のアイデアや提案を元に、商品開発やイベント等を実施し、地域資源の掘り起こしをさらに進めるとともに、更なる比婆いざなみ街道の知名度向上、観光誘客、活性化につながる取り組みを行う必要がある。
課題	情報発信力の弱さ、地域住民の関心の低さ

事務事業名 比婆いざなみ街道振興協議会負担金

**市民意見
(プラモニ)**

※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。)

分布	現行どおり	拡充	縮小	終了		総回答数
	2	0	1	1	0	4
主 な 意 見	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名に沿線、街道と入っているのので、バスやJRを活用した取組をして欲しい。良いものができても流通しないと意味がないので、物流の流れが目に見える取組をされてはどうか。生産物を流通させたくてもコストがかかったり販路が限られたりする。せつかくの街道なので、余すところなく活用していただきたい。 					
	<p>【縮小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域且つ過疎化につき、限定的な補助事業と思われる。 					
	<p>【終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の補助金に比べて補助率が高い(80%)ように感じるが、なぜか。 ・もともと知名度の低い「いざなみ街道」に対して個々の事業者や団体に知名度を上げるイベントを任せるのではなく、まずは「いざなみ街道」の知名度を上げたり、魅力を伝えるためのイベント(たとえば「いざなみ街道まつり」や「いざなみ街道サイクリング」みたいなもの)を行い、そこへ団体や事業者の参加を促していった方がいいのではないか。庄原市として盛り上げたい「いざなみ街道」をそんな気のない地域に丸投げするのは順番が違うかと思う。 					

事務事業名	比婆いざなみ街道振興協議会負担金
-------	------------------

行政評価 委員会評価	現行どおり	※行政評価委員会の摘録(会議内容)はホームページに掲載しています。
---------------	-------	-----------------------------------

総括 意見	<p>比婆いざなみ街道に絡めた事業は、沿線地域の活性化を狙いとした観光コンテンツとして有用であるが、知名度の低さと街道の沿線地域以外に住む市民からの関心の低さが課題である。知名度と市民の関心度を高めるためには、街道の沿線地域のみならず、市内全域の市民を巻き込む取組が必要である。</p> <p>本負担金については現行通り継続するとともに、比婆いざなみ街道振興協議会の構成員を市内全域から選出するなどし、観光誘客に向けた幅広いアイデアが発掘されるよう取り組んでいただきたい。</p>
----------	--

※委員会における最終的な評価として総括したもので、分布の多い評価を優先するものではありません。



分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	
	5	0	2	0	

各委員 の意見	<p>【現行どおり】</p> <p>② 所管課の評価と全く同感であり、知名度を高めるためには全市的な取組の広がりが必要と考える。また、古事記いざなみの歴史観・価値観をもっと認識し、PRに繋げるアイデアを募集するなどにより、市域全体で面的な取組が必要と思う。</p> <p>③ まだ「いざなみ街道」の知名度が低いように感じる。ただ、「いざなみ街道」は、観光コンテンツとして有用であると思う。観光消費へ繋がるイベントや商品開発を積極的に実施していただきたい。</p> <p>⑤ 芸備線の利用促進も含め、PR活動を続けられるということより現行のままもう少し様子を見ても良いかと思う。コロナ感染状況の中でも1回の参加人数を制限するなどしてイベントを開催することは可能であり、期待もできるため。</p> <p>⑥ まずは地域住民の関心を集めるため、街道を知っていただくことが必要と思われる。そのため、沿線地域のみならず市内全域の方がコロナ禍でもできることのアイディア出しをするなどし、地域活性化や観光誘客につながればと思う。協議会メンバーも増員が可能なら全振興区から選ばれると関心度が違うのではないか。</p> <p>⑦ 比婆いざなみ街道に沿った資源の掘り起こしから沿線地域の活性化に繋げることで、市全体の活性化を図る目的は理解できるが、マラニックなどのイベントを基に知名度を上げていくのか、他課との連携で情報発信するのか、これまで事業のおこなわれていない他の地域の方はどのように考えておられるのかを協議会で検討いただき、事業が広く周知されるようお願いしたい。</p>
	<p>【縮小】</p> <p>① 本事業はいざなみ街道の沿線地域を対象とした事業で、対象外の地域での活用はなじまないように思える。市域全体で活用できるような事業に変え、振興協議会も市全域で再興し、いざなみ街道も含めた事業に展開することで市内外に波及すると思える。</p> <p>④ 観光事業の一環として立木、道路の整備等は市が率先して行う事業だと思う。販売等の収益のある事業に対しては、助成金が多いのではないかと思う。収支予算をしっかりと検討した上での助成金活用をしていただきたい。</p>

今後の事業 実施の方向性	現行どおり
-----------------	-------

詳細	<p>市内全域の市民に対して、知名度および関心度を高めるため、これまでの市HP等での周知に加え各自治振興区等に協力を依頼し、より一層の周知を行う。</p> <p>また、沿線地域以外の意見を拾い上げる仕組みについて協議会を中心に検討を行う。</p>
----	---

備考	<p>予算額 令和5年度： 1,000千円 令和4年度： 1,000千円</p>
----	--